

双葉町の復興状況について ～双葉駅周辺における公共施設整備状況～

- 双葉駅周辺に町民が利用できる公共サービス施設の整備を進めております。

1. コミュニティーセンター：総務課

[整備目的]

- 町の記憶とも言えるコミュニティーセンターを改修し、地域住民はもちろんのこと来訪者にとっても開かれた多目的な交流施設として整備します

[導入機能（予定）]

宿泊機能/待合ライブラリ/観光案内/公衆トイレ/EV 駐車場（北側駐車場）

[整備スケジュール]

令和9年度中の開館を目指します

3. 公設商業施設：復興推進課

[整備目的]

- 駅東地区の町有地2か所に公設商業施設を整備します

[導入機能（予定）]

町有地①：飲食料品小売業（イオン）/屋根付き広場空間

町有地②：飲食店

[整備スケジュール]

町有地①、町有地②は令和7年度のオープンを目指します



図 町有地①イオン完成イメージ



2. 福祉交流施設：健康福祉課

[整備目的]

- 子どもから高齢者まで年齢や障がいの有無にかかわらず、誰もが気軽に集い、必要なサービスを受けることができる複合的福祉サービス拠点を整備します

[導入機能（検討中）]

健康増進機能（フィットネスジム）/相談機能（地域包括支援センター）/介護機能/交流機能

[整備スケジュール]

令和9年度の開館を目指します

4. 旧三宮堂田中医院：生涯学習課・復興推進課

[整備目的]

- 復興のシンボルとして、国登録有形文化財「旧三宮堂田中医院」の改修工事が終了。移住定住窓口や交流の場として利用できる施設として整備します

[導入機能（予定）]

移住定住窓口/文化財/交流スペース/移住・定住者間の交流機能

[整備スケジュール]

令和6年度の開館を目指します



図 旧三宮堂田中医院

5. 旧東邦銀行：復興推進課

[整備目的]

- 旧東邦銀行双葉支店のなじみのある空間を残しつつ、起業家向けオフィスなどを備えた産業創出・産業交流の場として改修・整備します

[導入機能（予定）]

シェアオフィス/コワーキングスペース/交流機能

[整備スケジュール]

令和8年度のオープンを目指します

～中野地区復興産業拠点における企業立地・事業再開推進～

- 旧避難指示解除準備区域である中野地区において、**町のあらたな「働く拠点」を整備（中野地区復興産業拠点）**。約50ha
 - 現在**24件の立地**が決定。18件が操業を開始。
 - 被災を伝承し、復興を祈念するエリアとして、アーカイブ拠点施設「東日本大震災・原子力災害伝承館」や復興祈念公園が整備。これらを拠点に、**復興ツーリズムを育成し、町への人の流れを生み出す地域として位置づけ**。
- ※2020年3月4日に避難指示解除



アルメディア双葉工場

大和ライフネクストホテル
(イメージパース)

至 常磐双葉IC 6km

(株)エナジー
(建設業)



浅野燃系(株)双葉工場

至 JR双葉駅 2km



ビジネスホテルアルムふたば



双葉中央アスコ